

大分教育事務所訪問 7

臼杵市立川登小学校から学ぶ

学校の教育目標「かしこく、やさしく、ふるさとで輝く『川登っ子』」を育成するために、重点目標を「自分自身が何を理解しているか何をできるのかをつかむ」「他者と共に探求し、より高まろうとする」「よりよく生きるために創意工夫し、チャレンジする」として定め、プロジェクトチームをつくり取り組んでいます。

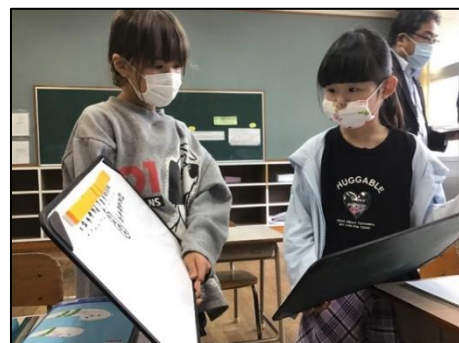
学校経営から学ぶ

小規模校ながらも、3つの重点目標毎にプロジェクトチームとつくり、各リーダーが中心となって取組目標について進行管理をしています。それは校内掲示物からも見受けられました。また、各チームや学年をつなぐために、教頭、教務主任が全体を統括し、リーダー会議でそれぞれの実践のマネジメントを行う等、組織的な運営が行われています。

今後は、取組目標を絞り込み、どの期間にどのくらいの頻度で行う等、取組目標を定量化（数値化）と定性化（イメージ）により明確にし、その取り組みで子ども達にどのような資質・能力が身についたかを検証し、次の目標を設定することを短期のPDCAで行うことで、教職員も子どもも成長が実感でき、「育成を目指す資質・能力」もより具体的になり絞られると思います。

授業から学ぶ

どの授業においても、授業用のワークシートを準備され、学力の定着を図る工夫をされていました。今後は「ふりかえり」の場面では、子どもの意見を聞きながらキーワードを確認したり、書く行数の指定はしても、最後は自分の言葉で書かせる（個に返す）ことで、それぞれの子ども達が本時（単元）で何がわかり、どんな疑問を持ち、今後の学習や生活で生かしたいという意欲も知ることができます。また、そのような「ふりかえり」から、子ども達にどんな資質・能力が身についたかが明確になることで、教師が設定する評価規準や、めあてとふりかえりの質の向上へもつながることでしょう。



NO.57 2021年6月 臼杵市立川登小学校

より高まるために

友達の考えを知ると、自分との違いや共通点がわかる。そして、自分に自信がもてる。



NO.56 2021年6月 臼杵市立川登小学校

反応する

友達の発言を聞いて、自分の考えとつなげることで、理解が深まる。



NO.59 2021年6月 臼杵市立川登小学校

説明力

みんなの前で一人で説明するのは勇気がいる。そのようなことを繰り返すことで、説明する力がついていく。



NO.58 2021年6月 臼杵市立川登小学校

板書を根拠に

構造的にまとめられている板書だから、説明がしやすく理解もしやすい。